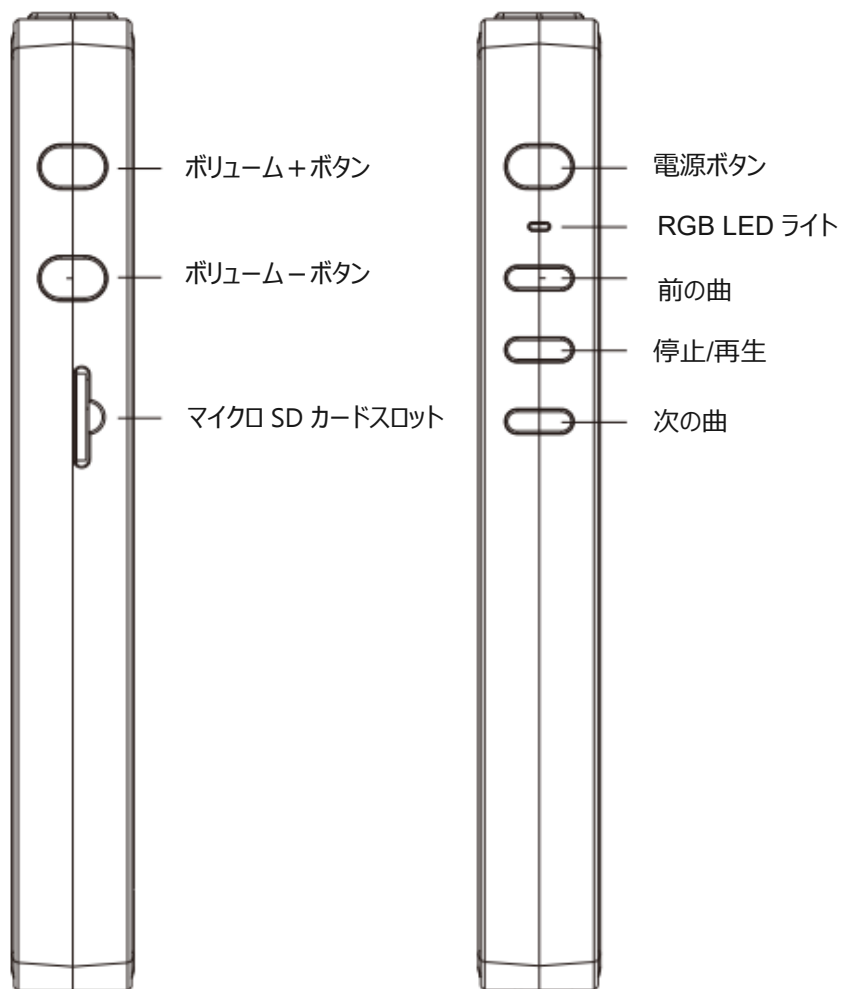
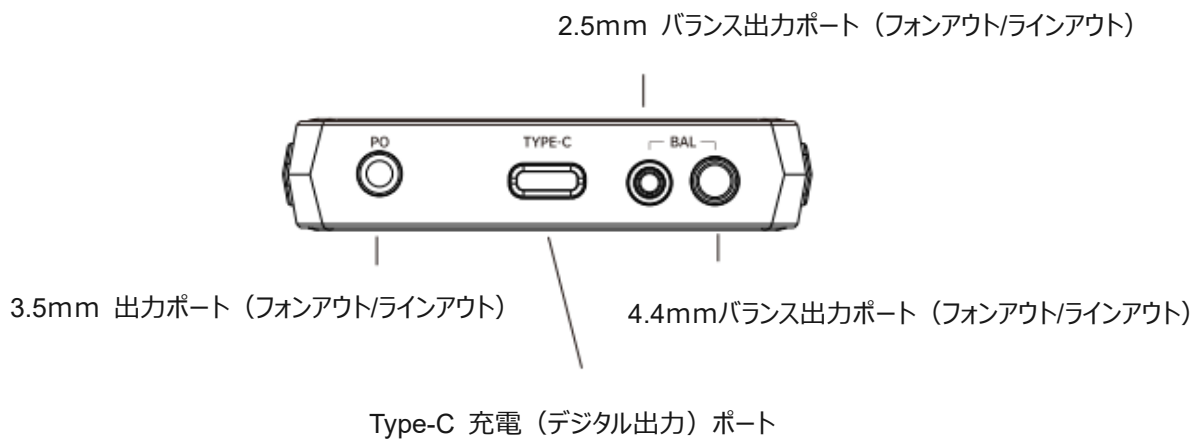


User Manual

【各部のなまえ】



R5 Gen2

【システムと出力ポート】

1. 電源 ON/OFF と再起動、画面のロック

- a. 電源を入れる : 電源ボタンを2、3秒間長押しします。
- b. 電源を切る／再起動 : 電源ボタンを長押し後、画面右側に表示される「電源を切る」と「再起動」をタップして選択します。
- c. 画面ロック : 電源ボタンを一度押します。
- d. 画面ロック解除 : 電源ボタンを一度押すか、またはスクリーンを2度タップします。
- e. 強制再起動 : 電源ボタンを20秒間長押しします。

2. システムについて

R5 Gen2（以下'R5'）はAndroid 8.1が搭載されており、Androidスマートフォンのようにご自身で自由にアプリケーションをダウンロードすることも可能になります。プリインストールされているアプリケーションにはDAP版のHiBy MusicとGoogle Playが含まれています。

3. フォンアウト出力ポート（2.5mm/3.5mm/4.4mm）のラインアウト自動切り替え機能

R5がアンプに接続されると、自動でアンプを検知してラインアウトで出力します。

4. ケーブル使用時のデジタル出力

R5はType-Cの出力ポートにケーブルを接続することでデジタル出力が可能になります。

5. RGB LED ライト

RGB LED ライトは、充電状態やサンプリングレートの数値によって様々な色に点灯します。

- ⊗ Blue ➔ PCM≤48kHz
- ⊗ Green ➔ 64kHz≤PCM≤192kHz
- ⊗ Orange ➔ PCM> 192kHz
- ⊗ White ➔ DSD
- ⊗ Red ➔ 充電中またはバッテリー残量 20%未満

【Type-C USB データポート】

1. データ転送

付属のType-Cケーブルを用いてR5をコンピューターに接続します。接続語、「設定」→「接続済みの端末」→「Default USB configuration」をタップし、「ファイルを転送する」を選択します。接続完了後、R5の内部メモリまたはR5に挿入されたマイクロSDカードにデータを転送します。

（Macをご使用の場合は、Android File Transferをインストールしてから接続します。）

R5 Gen2

2. USB デジタルオーディオ出力

R5 を外部 DAC に接続する場合、OTG に対応している Type-C USB ケーブルをご用意ください。

3. USB DAC デジタルオーディオ入力

外部のオーディオ機器から出力する場合は、以下のように接続します。

- PC (USB ポート) ➡Type-C USB ケーブル ➡R5
 - オーディオデバイス ➡OTG アダプター ➡Type-C USB ケーブル ➡R5
- a. 「設定」→「接続済みの端末」→「Default USB configuration」をタップし、「USB DAC in」オプションを選択して USB オーディオ入力を有効にします。
 - b. Windows10 より前の Windows をご使用の場合は、USB オーディオドライバーをインストールしてから接続します。IIDAPIANO ウェブサイト内の HiBy Download ページより「HiBy USB DAC Driver」をダウンロードしてください。 (<https://www.iidapiano.store/hibydownload>)

【ワイヤレス接続】

1. Bluetooth

R5 と新しい Bluetooth イヤホンやポータブルスピーカーなどに接続する場合は、以下のように設定します。

- a. 通知シールドをプルダウンし、Bluetooth アイコンをロングタップして、Bluetooth の設定画面を開きます。
- b. Bluetooth のスイッチをスライドして ON にします。
- c. ペアリングするデバイスを各デバイスの説明書に従ってペアリングモードに設定します。
- d. 「新しいデバイスとペア設定する」をタップして、ペアリングするデバイスを自動的に検索します。
- e. ペアリングするデバイスの名前が表示されたら、デバイス表示をタップします。完了すると接続済みのデバイスとして登録されます。

2. Bluetooth オーディオ入力

R5 は、以下の方法で Bluetooth オーディオレシーバーとして機能します。

- a. 通知シールドをプルダウンし、Bluetooth アイコンをロングタップして、Bluetooth の設定画面を開きます。
- b. Bluetooth のスイッチをスライドして ON にします。
- c. 「Bluetooth オーディオ入力」をタップし、Bluetooth 接続画面に入ります。
- d. 出力デバイス側でペアリングするデバイスとして検索して R5 と接続します。
- e. 接続完了後、出力デバイス側で再生する音楽を R5 でも再生します。

R5 Gen2

3. Wi-Fi

R5 は 2.4GHz と 5GHz のデュアルバンド Wi-Fi に対応しています。オンラインで使用する他に、HiBy Link を利用して曲を転送することや、遠隔で操作することも可能です。また、DLNA のネットワークを介してリモートでミュージックライブラリにアクセスすることや、R5 に搭載されている HiBy Music アプリの機能を全て利用できます。

【ファームウェアアップデート】

1. OTA (Over-the-air) アップデート

- a. R5 はインターネットに接続するとアップデートの有無を自動で検知し、アップデートが利用可能な場合は、通知画面で知らせます。
- b. 「設定」から、「システム」の「ワイヤレスアップデート」画面にてアップデートすることもできます。
- c. 古いバージョンにダウングレードすることはできませんので、ご注意ください。

【DTA フルタイムビットパーフェクト Android オーディオフレームワーク】

- a. DTA (Direct Transport Audio) は HiBy が開発したフルタイムビットパーフェクト Android オーディオフレームワークの名称です。オーディオスタックを調整して、Android のサンプルレート変換を回避することで、ビットパーフェクトオーディオの出力が可能になります。
- b. R5 に搭載されている HiBy Music は DSD256 までビットパーフェクトに出力可能になっていますが、多くの第三者アプリケーションは、Android のサンプリング変換が不適切と判断し、内部で「高品質」のサンプリング変換を実行します。その場合、DTA であっても、ビットパーフェクトオーディオを出力することはできません。

【Android システムファクトリーリセット】

1. 電源を OFF にします。
2. 「電源ボタン」と「ボリューム＋ボタン」を同時に押し続け、Android ロボットが現れたら押すのを止めます。
3. 「電源ボタン」を長押ししながら、「ボリューム＋ボタン」を 1 回押すと、Android のリカバリー画面が現れます。
4. “Wipe data / Factory reset” を実行します。本体のデータが全て消去されますので、ご注意ください。(Android のリカバリー画面では、上下の移動を「ボリューム＋ボタン」と「ボリューム－ボタン」で、また決定は「電源ボタン」で操作します。)

【製品の保証とサポート】

製品保証は製造上の不備や万一の故障が発生した場合に適用されます。ご購入時から1年間の製品保証で、取扱説明書に準じた取り扱いにもかかわらず故障が発生した場合は無償で交換もしくは修理対応致します。保証についての詳細は、IIDA PIANO ウェブサイトの「保証規定」でご確認いただけます。（<https://www.iidapiano.store/warranty>）

製品に関するお問い合わせは、IIDAPIANO ウェブサイト内「CONTACT」のお問い合わせフォームから、カスタマーサポートまでお願いいたします。（<https://www.iidapiano.store/contact-us>）

【注意事項】

- 修理や分解、水のある場所に製品を置くことはしないでください。
- 長期間使用しない場合は、バッテリーの寿命を延ばすために定期的に充電する必要があります。
- ヘッドホンを使用すると、外部環境の音が聞こえなくなります。安全のため、危険な環境での使用は避けてください。
- 長時間の使用は避けてください。聴覚に深刻なダメージを及ぼす場合があります。
- 充電に適した充電器を使用してください。高電圧の充電器で充電すると、機械が損傷する可能性があります。
- ポート内に埃や異物、汚れ等が溜まると音楽再生や充電ができなくなる可能性があります。また、場合によっては発火の恐れもありますので、十分にご注意ください。
- 人体の高周波被ばくを低減する為、製品を人体から 20cm 以上離して使用してください。

【免責事項】

ユーザーマニュアルは、機能の追加や情報の更新等により、事前の予告なく変更される事があります。ユーザーマニュアルを無断で転載する事はご遠慮ください。製造業者及び代理店は、本製品の本来の使用目的以外の不適切な使用および操作に起因する怪我や、事故を含む損害に対して責任を負いません。本製品を使用中にデータを消失した場合、お客様ご自身の責任となり、弊社では一切責任を負いませんので、ご了承ください。